

令和 2 年度各地区協会活動状況報告

東京地区

1. 会議

(1)人事担当事務(課)長懇談会

令和 2 年 12 月 16 日(水)14:00~15:00 於 オンライン(Zoom)

議題

1. 各大学・機関の状況について

(1) 各大学・機関の人事上の状況

(2) 令和 3 年度法人採用・募集予定数

(3) 人事交流の状況と今後の予定(方針)

2. 図書系採用試験等

(1) 令和 2 年度試験・採用状況

(2) 令和 3 年度法人採用試験日程

(3) 図書系専門試験の今後の在り方の検討について

(4) その他

(2)事務連絡会議

令和 2 年 12 月 16 日(水)15:15~17:00 於 オンライン(Zoom)

報告・連絡事項

1. 国立大学図書館協会秋季理事会について(R02.11.09・オンライン(Microsoft Teams))

2. 令和 2 年度国立大学図書館協会地区協会助成事業について

3. 令和 2 年度東京地区協会・関東甲信越地区協会合同フレッシュパーソンセミナーについて

4. その他

協議事項

1. 令和 3 年度東京地区協会総会の開催形式について(東京学芸大学)

2. JUSTICE-エルゼビアの OA の目標を支援するための提案について(東京工業大学)

3. 令和 3 年度地区協会助成事業について(東京大学)

4. その他

その他

1. 各館近況報告

2. その他

(3)地区協会総会

令和3年4月16日(金)14:00~17:00 於 オンライン(Microsoft Teams)

報告・連絡事項

1. 令和2年度東京地区協会の事業活動について
2. 令和2年度国立大学図書館協会地区助成事業報告
3. 第67回総会(令和2.6.19-29)以降の国立大学図書館協会等の活動について
4. その他

協議事項

1. 令和3年度理事候補館の選出について
2. 令和3年度東京地区協会の事業計画について
3. 次期ビジョン(案)について
4. その他

2. 研修

・令和2年度国立大学図書館協会東京地区協会・関東甲信越地区協会合同フレッシュパーソンセミナー

[開催日時]令和2年11月12日(木)

[会場]オンライン(Zoom)

[目的]新規採用、人事異動等により新たに東京地区及び関東甲信越地区(以下「両地区」という。)の国立大学等の図書館に勤務することになった職員を対象に、大学図書館の動向及び業務について初任者として必要な基礎的な知識を修得する機会を提供する。

[参加者数]27名(東京地区14名、関東甲信越地区13名)

3. 国立大学図書館協会の助成事業

・国立大学図書館協会 LibrarianMap の運用

①LMの運営

LMの登録対象範囲について、東京地区を中心に全国の国立大学図書館職員まで拡大した。またこれに先立ち、未作成の所属機関ページを網羅的に作成する等の準備を行った。一方で、メンバーによる日常的な保守を行い、LMの安定した提供に務めた。また、必要に応じて登録者にメールで告知等を送ったほか、登録者からの問合せにも随時対応した。

②広報／普及活動

登録者数の増加を目指し、以下の活動を行った。

第22回図書館総合展 ONLINE ポスターセッション出展

《会期》令和2年11月1日~30日

《出展内容》オンラインブースでのポスター出展、Zoomによる来場者対応、LMデモ版公開、Q&Aの掲載、ご意見箱の設置

令和 2 年度国立大学図書館協会東京地区・関東甲信越地区協会合同フレッシュパーソンセミナーでのブレイクタイム担当

《開催日》令和 2 年 11 月 12 日

《概要》地区内の新任職員を対象とする研修において、講義間のブレイクタイムとして、LMの説明及び受講者の自己紹介企画を行った。

《参加者数》27 名

関連イベント「他館の職員とつながろう！～LibrarianMap で『名刺交換で終わらない関係』を～」開催

《開催日》令和 3 年 3 月 16 日

《概要》全国の国立大学図書館員を対象に、図書館員同士のネットワーク形成に焦点を当てたイベントを実施。東京工業大学 茂出木課長による基調講演、運営メンバーによる LM 紹介、業務ごとに分かれてのグループディスカッションを行った。

《参加者数》9 名

③技術的検討

登録情報を充実させる仕組みとして、LibrarianMap 登録者に関する情報をウェブ上から自動で取得し、取得した情報を該当者のマイページに自動で追記する方法を中心に検討を進めた。

技術指導の田辺氏の助言を得ながら、Python を使った試験的なモデルの作成が完了している。次年度以降さらなる改良を進め実装を目指す予定である。

・令和 2(2020)年度大学図書館シンポジウム「オンライン授業における図書館の役割」

[開催日時]令和 3 年 1 月 22 日(金)

[会場]Zoom webiner で実施

[目的]新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、2020 年度春学期は多くの大学がオンライン授業への切り替えを余儀なくされた。図書館も休館や制限下での運用を強いられ、「紙資料の貸出」や「場の提供」という基本機能の提供が難しい状況に陥った。秋学期は多くの大学で対面授業が再開されたが、オンライン授業との「ハイブリッド」が主流となり、ポストコロナ時代の新たな大学教育の在り方の模索が求められている。図書館においてもサービス基盤のバーチャルへの突然の転換によって浮き彫りになった問題や課題に日々直面していることから、オンライン授業に関わる教員・職員・関係団体それぞれからの講演・報告を通じて、「大学図書館は今、何ができるのか」「このような状況下でもより良いサービスを提供し続けるために必要なことは何か」を考える場とする。

[参加者数]スタッフを含め 599 アカウントの申込があり、529 アカウントのアクセスがあった。